

平成 30 年 3 月 8 日

「知財ビジネス評価書」を活用した事業性評価による融資の取組みについて  
 ～当行第 5 号案件～

名古屋銀行（頭取 藤原 一朗）は、この度、株式会社ホニック（代表取締役社長 脇田 洋介）に対し、「知財ビジネス評価書」を活用して事業性評価を行い、融資いたしましたのでお知らせします。

「知財ビジネス評価書」は特許等の知的財産を切り口に第三者機関である評価機関が企業の事業内容を評価するものであり、特許庁では「知財ビジネス評価書」の普及と金融機関による活用を促すため評価書の作成支援事業を実施しています。

当行では地元企業の円滑な資金調達をサポートするため、この事業に参画しており、今般、「知財ビジネス評価書」により、同社の特許権が分析され、企業力の適正な評価に役立てられました。同評価書を活用した融資としては当行第 5 号案件となります。

当行は、引続き地域の皆さまのニーズを捉えた情報・サービスの提供を行ってまいります。

【株式会社ホニックの概要】

所在地	愛知県春日井市新開町字平淵 81-4
代表者	脇田 洋介
創業	1975 年 10 月
業種	電子機器及び電気制御設計・製造及び販売
資本金	40 百万円
従業員	31 名
事業の特色	段ボール生産工程の検査装置を製造・販売し、位置検出・調整方法に関する技術は業界トップの位置にあります。同社の検査装置は国産段ボールの半数以上を製造する装置に導入されており、競合他社が注目する技術を有しています。また、輸送頻度の高まりやオンラインショッピングなど EC※の普及拡大に伴い段ボール需要の拡大が見込まれ、安定的な事業展開を行っています。

※EC (electronic commerce)：電子商取引。コンピュータネットワーク上での売買や決済、サービスの契約などを行うこと

以上